

# 令和5年度事業報告

令和5年度の請負などの受注件数は2,093件と前年比209件減少し、契約金額も1億1,561万4千円で前年比628万円の減となりました。

内訳は、公共の契約金額が2,769万9千円（前年比：623万8千円の減）民間事業所の契約金額が6,230万7千円（前年比：83万1千円の減）一般家庭の契約金額が2,560万8千円（前年比：78万9千円の増）です。

県シルバー人材センター連合会小千谷市事務所が実施する派遣事業については、受注件数が5件増加し、契約金額は5,841万4千円で前年比375万6千円の増となりました。

会員数については年度末で383人であり、前年比1人の増となりました。内訳は、入会者が39人、退会者が38人です。入会理由の主なものは、男性が生きがい・社会参加、健康維持・増進、経済的理由、時間的余裕の順に多く、女性が生きがい・社会参加、健康維持・増進、時間的余裕、経済的理由の順となっています。退会理由の主なものは、男性が病気（本人）、加齢、その他で就職の順に多く、女性は病気（本人）、加齢、家族の介護など家庭の事情という順となっています。

会員の平均年齢は全体が73.9歳（前年度73.5歳）であり、男性は74.0歳（前年度73.8歳）、女性は73.6歳（前年度73.0歳）で男女ともにその平均年齢が高くなってきています。また、請負と派遣を合わせた会員の就業率（年度内就業者数÷年度末会員数）は、96.9%（前年度99.7%）で、昨年と比べて若干低くなっています。

## 受託事業について

令和5年度の受託事業は、受注件数、契約金額ともに前年度を下回りました。

受注件数については、前年比で一般家庭90.4%、公共88.5%、民間92.8%で、契約金額については、一般家庭103.1%、公共81.6%、民間98.7%となっています。このうち公共については、新型コロナウイルス感染症まん延に伴う市立小・中学校校舎の除菌作業が令和4年度をもって終了したこと並びに暖冬少雪による除雪作業の受注減が大きく影響しています。

受託事業については、コロナの影響が少なかった令和元年度の数値をひとつの目標としていますが、比較をすると、受注件数で一般家庭98.2%、公共105.9%、民間73.3%、契約金額では一般家庭108.9%、公共104.1%、民間90.3%となっており、契約金額比率で常に区分全体の50%以上を占めている民間からの受注が、昨年からは微減しましたが、概ねコロナ前の水準まで近づいてきている状況です。

近年では、お墓清掃をはじめとした関東圏など遠隔地にお住まいの方からの施設管理の受注など、全国的な社会問題である人口減に伴う形態も増えつつあるところです。

また、冒頭に触れたとおり除雪関連では、今冬が近年でもあまり例をみないほどの暖冬少雪であったことから、就業日数が少なく昨年の実績を大幅に下回りました。

仕事の区分では、依然として運搬、軽作業（清掃・除草など）、サービスの作業（家庭生活支援・施設管理など）、農林漁業の作業（剪定・冬囲いなど）の受注が多くを占めており、生産工程の作業（金属加工など）が一部派遣への切り替えに伴いコロナ前と比較して減になってはいるものの、全体としてコロナ前の水準まで近づいてきている状況です。

シルバー事業は景気の動向や自然条件などに影響されやすく、年度ごとに増減はあるものの、市内の企業や一般家庭の皆様並びに公共機関等から高齢者の就業にご理解をいただき、比較的安定した発注をいただいております。今後も近年の受注状況を踏まえ、社会情勢を注視しながら特に民間企業からの受注回復に努めていかなければなりません。

### 会員の拡大について

令和5年度は、1名ではありましたが入会者数が退会者数を上回りました。ひとつの目標としている令和元年度の会員数（389人）を上回ることはできませんでした。全国及び新潟県においても会員の減少が続いている中、なんとか踏みとどまっている状態です。今後も会員の拡大に努めるとともに、職種により経験や技能を持つ会員が少なくなっていることや雇用・定年延長の進展に伴う新規入会者年齢の高齢化による経験年数不足等を踏まえ、引き続き技能者の養成などの資質向上にも粘り強く取り組んで行く必要があります。

### 安全就業について

令和5年度は、傷害事故4件、賠償事故2件の計6件で、昨年と比較すると傷害事故は1件増、賠償事故は3件減となっています。

傷害事故の内容は、就業後駐車場での車との接触による受傷、除草作業中の熱中症、樹木の伐採中に梯子からの転落による受傷及び清掃作業中の転倒による肋骨受傷、賠償事故は機械除草作業中の刈払機によるサニーホース破損、襖張替作業中の襖戸の破損となっています。

事故防止策として、会員へ注意の呼びかけや仕事前の安全確認の励行などを行っていますが、体力・技量の過信や経験値による慣れなど、何気ない作業の中にも事故が潜んでいますので、現場状況の把握等、安全就業について意識をより向上させることが大切です。

### シルバー派遣事業について

当センターは、県連合小千谷市事務所として平成22年度から派遣事業に取り組んでおり、国が適正就業を進める中、特に請負・委任契約と派遣契約を適正に行うよう指導が強まっています。また、不足する我が国の労働力を補うため高齢者に着目し、シルバー人材センターに派遣事業の拡大を促しています。そのような中、適正就業並びに事業拡大に努め、受注件数・契約金額とも前年度を上回りました。

派遣事業の前年度比較

項目	令和5年度	令和4年度	増減
登録会員数	212人	205人	7人
受注件数	85件	80件	5件
就業延人員	12,256人	11,388人	868人
契約金額	58,414千円	54,658千円	3,756千円

### 会員の状況、事業実績、会議行事の開催等について

(別添のとおり)